

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成26年2月14日
【四半期会計期間】	第55期第3四半期（自平成25年10月1日至平成25年12月31日）
【会社名】	オカダアイヨン株式会社
【英訳名】	OKADA AIYON CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 苅田 俊幸
【本店の所在の場所】	大阪市港区海岸通4丁目1番18号
【電話番号】	(06)6576-1281
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 篝 耕二
【最寄りの連絡場所】	大阪市港区海岸通4丁目1番18号
【電話番号】	(06)6576-1281
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 篝 耕二
【縦覧に供する場所】	オカダアイヨン株式会社 東京本店 （東京都板橋区新河岸2丁目8番25号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第54期 第3四半期連結 累計期間	第55期 第3四半期連結 累計期間	第54期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年12月31日	自平成25年4月1日 至平成25年12月31日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高(千円)	6,303,197	7,449,414	8,475,789
経常利益(千円)	568,835	666,967	605,627
四半期(当期)純利益(千円)	328,638	400,219	469,997
四半期包括利益又は包括利益(千円)	366,934	469,365	565,320
純資産額(千円)	4,324,817	4,999,537	4,522,836
総資産額(千円)	9,936,872	10,357,081	10,238,991
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	57.14	68.89	81.73
潜在株式調整後1株当たり四半期(当 期)純利益金額(円)	-	68.79	-
自己資本比率(%)	43.5	48.1	44.2

回次	第54期 第3四半期連結 会計期間	第55期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年10月1日 至平成24年12月31日	自平成25年10月1日 至平成25年12月31日
1株当たり四半期純利益金額(円)	13.32	22.04

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 第54期第3四半期連結累計期間、第54期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀などによる各種政策が徐々に浸透し、景気は緩やかに回復いたしました。

このような環境のもとで当社グループは、主力商品の油圧ブレーカー、圧砕機、環境関連機器の販売に注力しました結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高7,449,414千円（前年同期比18.2%増）、営業利益662,216千円（前年同期比16.7%増）、経常利益666,967千円（前年同期比17.3%増）、四半期純利益400,219千円（前年同期比21.8%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメント別の業績は次のとおりであります。

国内事業は、売上高全体で6,327,128千円（前年同期比18.5%増）となっており、油圧ブレーカーの売上高は524,260千円（前年同期比9.6%減）、圧砕機は2,503,282千円（前年同期比24.0%増）、環境機械に関しては1,116,635千円（前年同期比32.1%増）となりました。また、原材料売上高は894,684千円（前年同期比12.0%増）及び修理売上高は529,320千円（前年同期比18.0%増）となりました。利益については、セグメント利益595,819千円（前年同期比14.8%増）となりました。

海外事業は、売上高1,122,286千円（前年同期比16.2%増）となりました。利益については、セグメント利益68,728千円（前年同期比42.5%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

（資産の部）

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は、10,357,081千円（前連結会計年度末10,238,991千円）となり118,089千円増加しました。現金及び預金が822,590千円減少しましたが、受取手形及び売掛金が348,289千円、有形固定資産が413,389千円、投資その他の資産が152,581千円それぞれ増加したことが主な要因です。

（負債の部）

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は、5,357,543千円（前連結会計年度末5,716,154千円）となり358,610千円減少しました。長期借入金（1年内返済予定含む）が125,446千円増加しましたが、支払手形及び買掛金が135,165千円、短期借入金62,000千円、未払法人税等が89,601千円、賞与引当金が46,514千円、役員賞与引当金が42,670千円、役員退職慰労引当金が80,705千円それぞれ減少したことが主な要因です。

（純資産の部）

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、4,999,537千円（前連結会計年度末4,522,836千円）となり476,700千円増加しました。四半期純利益400,219千円を計上したことが主な要因です。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、69,666千円であります。なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(5) 主要な設備

当第3四半期連結累計期間において、以下の設備を新設しております。

会社名	事業所名 (所在地)	セグメントの名称	設備の内容	投資総額 (千円)
当社本社	本社 (大阪市港区)	国内	販売・組立・修理設備	339,410

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

当第3四半期連結累計期間において、新たに確定した重要な設備の新築、増改築等の計画は次のとおりであります。

会社名	事業所名 (所在地)	セグメントの 名称	設備の内容	投資予定金額		資金調達 方法	着手及び完了予定年月	
				総額 (千円)	既支払額 (千円)		着手	完了
㈱アイオンテック	埼玉工場 (埼玉県朝霞市)	国内	建設機械の 製造設備	987,000	-	未定	平成26年1月	平成28年8月

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	20,000,000
計	20,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年2月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	6,200,000	6,200,000	東京証券取引所市場 第二部	単元株式数は100株で あります。
計	6,200,000	6,200,000	-	-

(注)平成25年6月26日開催の定時株主総会により、平成25年7月1日付で1単元の株式数を1,000株から100株に変更しております。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年10月1日～ 平成25年12月31日	-	6,200,000	-	1,049,700	-	1,000,265

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 325,100	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 5,874,200	58,712	-
単元未満株式	普通株式 700	-	-
発行済株式総数	6,200,000	-	-
総株主の議決権	-	58,712	-

（注） 完全議決権株式（その他）には、証券保管振替機構名義の株式が3,000株含まれております。なお、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数30個が含まれておりません。

【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（％）
オカダアイオン(株)	大阪市港区海岸通 4丁目1番18号	325,100	-	325,100	5.24
計	-	325,100	-	325,100	5.24

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,267,178	1,444,587
受取手形及び売掛金	2,488,667	2,836,956
商品及び製品	1,426,793	1,440,218
原材料及び貯蔵品	1,190,865	1,232,814
その他	259,402	236,234
貸倒引当金	6,510	4,525
流動資産合計	7,626,397	7,186,286
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	498,516	858,612
機械装置及び運搬具(純額)	307,709	337,110
土地	1,423,710	1,444,931
その他(純額)	12,817	15,489
有形固定資産合計	2,242,753	2,656,142
無形固定資産		
その他	132,678	124,908
無形固定資産合計	132,678	124,908
投資その他の資産		
その他	242,157	402,014
貸倒引当金	4,996	12,270
投資その他の資産合計	237,161	389,743
固定資産合計	2,612,593	3,170,795
資産合計	10,238,991	10,357,081

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,175,116	2,039,951
短期借入金	1,912,000	1,850,000
1年内返済予定の長期借入金	321,574	372,435
未払法人税等	245,463	155,861
賞与引当金	98,841	52,327
役員賞与引当金	42,670	-
固定資産撤去費用引当金	12,358	-
その他	277,082	230,262
流動負債合計	5,085,106	4,700,836
固定負債		
長期借入金	273,805	348,390
退職給付引当金	270,368	277,646
役員退職慰労引当金	80,705	-
その他	6,169	30,670
固定負債合計	631,048	656,707
負債合計	5,716,154	5,357,543
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,049,700	1,049,700
資本剰余金	1,000,265	1,015,265
利益剰余金	2,670,807	3,013,527
自己株式	126,211	91,211
株主資本合計	4,594,561	4,987,281
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,746	49,385
繰延ヘッジ損益	106	4,659
為替換算調整勘定	91,577	56,624
その他の包括利益累計額合計	71,724	2,579
新株予約権	-	14,834
純資産合計	4,522,836	4,999,537
負債純資産合計	10,238,991	10,357,081

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	6,303,197	7,449,414
売上原価	4,361,991	5,266,923
売上総利益	1,941,205	2,182,491
販売費及び一般管理費	1,373,682	1,520,275
営業利益	567,523	662,216
営業外収益		
受取利息	4,682	3,911
受取配当金	962	2,401
受取保険金	12,202	-
固定資産売却益	7,829	17,434
その他	12,484	19,009
営業外収益合計	38,162	42,756
営業外費用		
支払利息	25,104	24,035
債権売却損	4,808	5,719
その他	6,936	8,249
営業外費用合計	36,849	38,004
経常利益	568,835	666,967
特別損失		
固定資産撤去費用引当金繰入額	12,358	-
減損損失	31,110	-
特別損失合計	43,469	-
税金等調整前四半期純利益	525,366	666,967
法人税等	196,728	266,748
少数株主損益調整前四半期純利益	328,638	400,219
四半期純利益	328,638	400,219

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	328,638	400,219
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,095	29,639
繰延ヘッジ損益	6,997	4,552
為替換算調整勘定	17,203	34,953
その他の包括利益合計	38,296	69,145
四半期包括利益	366,934	469,365
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	366,934	469,365
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(継続企業の前題に関する事項)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
受取手形	131,198千円	133,101千円
支払手形	216,119	189,307

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
減価償却費	112,724千円	117,242千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	48,890	8.5	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月26日 定時株主総会	普通株式	57,498	10.0	平成25年3月31日	平成25年6月27日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)
 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,337,608	965,588	6,303,197	-	6,303,197
セグメント間の内部売上高又は振替高	86,716	20,095	106,812	(106,812)	-
計	5,424,325	985,684	6,410,009	(106,812)	6,303,197
セグメント利益	518,850	48,238	567,089	433	567,523

(注)1 セグメント利益の調整額433千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)
 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,327,128	1,122,286	7,449,414	-	7,449,414
セグメント間の内部売上高又は振替高	139,626	5,059	144,685	(144,685)	-
計	6,466,754	1,127,345	7,594,100	(144,685)	7,449,414
セグメント利益	595,819	68,728	664,548	(2,332)	662,216

(注)1 セグメント利益の調整額 2,332千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	57円14銭	68円89銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	328,638	400,219
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	328,638	400,219
普通株式の期中平均株式数(千株)	5,750	5,809
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	-	68円79銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(千株)	-	8
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月13日

オカダアイオン株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 浅野 禎彦 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 杉田 直樹 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているオカダアイオン株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、オカダアイオン株式会社及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれておりません。